

I 次の各問に答えよ。

(1) a が正の実数のとき $\lim_{n \rightarrow \infty} (1+a^n)^{\frac{1}{n}}$ を求めよ。

(2) 定積分 $\int_1^{\sqrt{3}} \frac{1}{x^2} \log \sqrt{1+x^2} dx$ の値を求めよ。

II 正四面体 $OABC$ において、点 P, Q, R をそれぞれ辺 OA, OB, OC 上にとる。ただし P, Q, R は四面体 $OABC$ の頂点とは異なるとする。 $\triangle PQR$ が正三角形ならば、3 辺 PQ, QR, RP はそれぞれ 3 辺 AB, BC, CA に平行であることを証明せよ。

III 実数 x, y が条件 $x^2+xy+y^2=6$ を満たしながら動くとき
 $x^2y+xy^2-x^2-2xy-y^2+x+y$
 がとりうる値の範囲を求めよ。

IV (1) $\sqrt[3]{2}$ が無理数であることを証明せよ。

(2) $P(x)$ は有理数を係数とする x の多項式で、 $P(\sqrt[3]{2})=0$ を満たしているとする。このとき $P(x)$ は x^3-2 で割り切れることを証明せよ。

V 次の命題 (p), (q) のそれぞれについて、正しいかどうか答えよ。正しいければ証明し、正しくなければ反例を挙げて正しくないことを説明せよ。

(p) 正 n 角形の頂点から 3 点を選んで内角の 1 つが 60° である三角形を作ることができるならば、 n は 3 の倍数である。

(q) $\triangle ABC$ と $\triangle ABD$ において、 $AC < AD$ かつ $BC < BD$ ならば、 $\angle C > \angle D$ である。

VI さいころを n 回投げて出た目を順に X_1, X_2, \dots, X_n とする。さらに

$$Y_1 = X_1, Y_k = X_k + \frac{1}{Y_{k-1}} \quad (k=2, \dots, n)$$

によって Y_1, Y_2, \dots, Y_n を定める。

$$\frac{1+\sqrt{3}}{2} \leq Y_n \leq 1+\sqrt{3}$$

となる確率 p_n を求めよ。



電話: 400-6321-400/13601043104(微信) QQ: 1925811302

地址: 北京市海淀区海淀路北大资源东楼 1433 室